

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月26日更新

事務事業名	重点区域土地利用計画策定事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	政策部	課長名 辻賢一郎
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	まちづくり戦略室	担当者名 塚本健洋
	基本事業	17	計画的な市街地の形成		所属班	戦略秘書班	(内線) 1212
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11523	法令根拠	成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑦
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 ~ 23 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	合志市土地利用計画の基本方針に基づいた、検討エリアの具体的な土地利用計画を策定する事業である。22年度は旧町時代からの懸案である合志庁舎南側の土地利用を検討するための交通計画基礎資料作成業務を委託した。23年度上半期に①合志庁舎南側から南部市街化区域を結ぶ地区の一体的なエリア②辻久保から黒石までの国道387号線並びに熊本電鉄沿線エリア③北熊本スマートIC周辺の北部エリアの土地利用を検討していく。検討にあたっては庁内検討委員会での議論を踏まえ、エリアごとに地域の現状や課題のデータを示し、地域住民の意見を聞いていくとともに、関係者で組織する土地利用検討委員会を立ち上げ、各エリアごとの計画を作り上げる。この3箇所の結果等を踏まえ、23年度下半期に合志市全体の土地利用のあり方を検討する委員会を開催し、それぞれのエリア構想のバランスを図りながら土地利用計画を策定する。
【業務の流れ】	①土地利用検討委員会の設置及び開催 ②検討エリアのデータ収集と市民意向の把握等 ③検討エリアの地域データ及び市民意向の整理と分析 ④エリア別の土地利用計画策定
【主な予算費目】	22年度：旅費・委託料 23年度：報酬・費用弁償・委託料・時間外勤務手当等
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・市民から大型商業施設の誘致を希望する声が寄せられ、議会で検討も行われた。 ・議会一般質問で、計画的な土地利用を求める質問等がなされている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:新規
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
竹迫地区の交通計画基礎資料作成業務委託	土地利用検討委員会の開催、土地利用計画の策定
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 委員会開催回数	【拡充事業】稼げる市を目指した土地利用計画を策定するため、各エリアごとの土地利用検討委員会の設置・運営に伴う委員報酬及び報告書作成経費等の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
土地利用基本計画における重点区域	→ ア 市街化区域区域面積 ha イ 市街化調整区域面積 ha
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
適切な土地利用計画が策定される。	→ ア 土地利用計画を策定したエリア数 エリア イ 市街化調整区域で開発が誘導された土地の割合 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 土地利用計画を策定する3つのエリアとした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ~23年度 (期間限定複数年度のみ記載) 0
① 活動指標	ア 回	回	0	0	0	0	16	0	0	
	イ									
② 対象指標	ア ha	ha	0	0	0	0	545	0	0	
	イ ha	ha	0	0	0	0	4,772	0	0	
③ 成果指標	ア エリア	エリア	0	0	0	0	3	0	0	
	イ %	%	0	0	0	0	0.52	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円				4,486			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円				1,027	5,424			
人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	1,027	9,910	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	925	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	375	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	0	1,950	9,640	9,640	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1,950	10,667	19,550	0	0		

事務事業名	重点区域土地利用計画策定事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	----------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部 (SEE)
 *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 市民意向の把握、関係機関との協議、各種法規制との整合性に相当の時間を要している。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 委員会を開催し、市民意向の把握は実施していくが、現実的に各種法規制との整合性が図られるかが課題となる。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事務遂行のための最小限の予算であるため削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 合志市土地利用基本計画に基づく事務事業であり公平性は保たれる。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 土地利用は、まちづくりの基礎となるものであり、市が行うべき事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

合志市の人口の伸びや財政状況等の分析を行った。将来は高齢者の増加等を踏まえると歳出予算が増え、歳入予算が減っていくことが想定される。
このことを踏まえ、早急に土地利用計画を作成し合志市が潤うまちづくりに努めていくことが必要である。
なお、22年度については合志市舎南側の土地利用を検討するための交通計画基礎資料作成業務委託。今後開発により増大が見込まれる通行量の処理・拡散方法などのシミュレーションを行うことにより、土地利用を検討する際の基礎資料とすることが出来た。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>土地利用の検討にあたっては庁内検討委員会での議論を踏まえ、エリアごとに地域の現状や課題のデータを示し、地域住民の意見を聞いていくとともに、関係者で組織する土地利用検討委員会を立ち上げ、各エリアごとの計画を作り上げる。この3箇所の結果を踏まえ、23年度下半期に合志市全体の土地利用のあり方を検討する委員会を開催し、土地利用計画を策定する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>市民の意向把握、関係機関との協議、各種法規制との整合性を図る必要がある。</p>																						